株式会社 シルバーネスト

業種 医療／福祉　所在地 和歌山市秋葉町43-5　TEL 073-447-0619　FAX 073-445-2109
従業員 正規45名（男7：女38）／非正規83名（男6：女77）※グループ2社合計　WEB http://http://www.silvernest.biz/
結婚・子育てのための取り組み 育児休業／短時間勤務／短時間勤務契約時の異動無／子ども手当

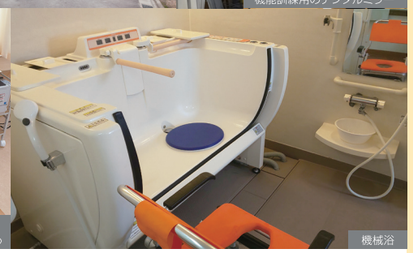
私たちは「利用される方、サービスを提供する職員、利用者様ご家族、関わるすべての人が笑顔でいられるように」をモットーに、常にそのための知識や技術を学びながら、新しい福祉の形に挑戦しています。

のびのびとくつろげる利用スペース

外観

機能訓練用のデジタルミラー

体重・脂肪率・筋肉量・体内水分量も測定できる


機械浴

育児のステージに合わせて選べる働き方で子育て世代をバックアップ！

妊娠・出産が復帰の障害になる理由を根本から見直してみたら…

この業界において、質の高い仕事ができる方に働いてもらえることはとても重要。ですが、妊娠を機に退職したり、パートになる女性が多いのが現状です。出産後に戻る意思があっても、同じ働き方ができないために正社員でいられなくなって収入が落ち、結果的に諦める人も。せっかく培ったスキルや資格がそこで無駄になってしまうのはもったいないと思います。まさにそういった悩みを抱えていた谷口さんから相談を受けたことがきっかけで、準社員という契約形態を導入しました。

代表取締役／越野公爾さん

子供ができると制限が変わります。会社としてやれることは、制限がある中でも働きやすい職場を作ること。扶養の範囲内で働きたい人も、しっかり働きたい人もいる。その人の今いるステージに合わせて変形労働性がとれればと設けたのが完全時給月給制。時間で区切ることができるので、お子さんの発熱など急なトラブルで帰宅した場合でも、時給としてしっかりと給料に反映できます。もちろん報酬や資格手当てなどの部分は変わりません。子育て期は一番お金が必要な時。子ども手当ても人数に関わらず１人あたり月額5,000円から10,000円に増額しました。

また子育て世代は土日は休みにして、家族で過ごせる時間も確保しています。介護職が育児と両立できない原因は、１人ひとりの負担が大きいから。でもそれは前提が違うんです。本来みんな同じことをできないといけない。そのため、職員の数を増やして休みを取りやすい環境を作っています。おかげでうちは部署に関わらず有給休暇消化率も非常に高くなりました。

課題解決までのプロセス

解消したい課題　育児しながらでも正社員として働ける環境を

- 育児にお金がかかるのでパートではなく正社員で復職したいが、出産・育児で不規則な働き方になるためなかなか正社員での働き口がない。
- 1人で仕事を抱え込むと、休みが取りにくく、休むにも他の人に気を使う。家族で過ごしたい週末もなかなか休めない。

課題への取り組み　勤務時間を短くできるシステムの導入へ

- 時給月給の制度で**時短可能な準社員**という契約形態を導入。仕事中に子供のトラブルで帰らなければならない場合も働いた分の時給が発生するように。
- 子ども手当てを1人あたり月額5,000円から**10,000円に増額**。
- 子育て世代は**土日を完全休暇**にし、家族の時間をとれるよう配慮。
- 緊急時にも対応できるよう**増員し**、どの仕事もみんなができるように徹底。

導入成功のアイデア

- 先進的に時短可能な準社員制度を導入していた企業の経営者に話を聞いて参考に。
- 時給月給制を選べることで、より個々の状況や希望に寄り添う形で導入することができた。

導入の成果　働きやすい環境と会社の新たな魅力が誕生

- 急な発熱などのトラブル時も気兼ねなく帰ることができ、**給与も時給として反映**される。また周囲も育児との両立を理解し、温かくサポートしてくれる。
- **必要に応じて形態をチェンジ**。育児中は準社員で、子供が成長したら正社員へと形態を変更も可能。
- これまでのスキルを生かしつつ、**家族との時間がしっかりとれて**安心。
- 制度の導入で、**若い世代の離職の歯止め**に効果が。

現場の声

準社員制度を利用しているオペレーター兼介護職員の谷口さん

以前に勤めていた会社では「子供がいるから何？それで特別扱いはできない」と言われ、夜勤も当たり前、熱を出しても帰りにくい状況でした。それでもパートでは生活が厳しくなると悩んでいた時に助けていただきました。

社長はいい意味でフランクでとても話しやすく、不安な部分は全て解消してくれました。一緒に働く方たちもみんな共感してくれて、本当に有難い。今は土日祝は休めて週5日勤務。子供が発熱時もすぐに帰ってあげられる環境が整っています。今後も私と同じような境遇の人が気持ちよく働ける道を作っていけたら。

子供がいても、働きやすくなった

子供が大きくなったら正社員になって、また次の子育て世代をサポートする側になれたらと思っています。